



# 農政課題解決研修情報

農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修) 事務局 (連携普及部 連携普及企画室(担当:大島))  
電話 029-838-7599

## <研修実施状況>

### ○茶の新品種の特性と品質評価技術

野菜茶業研究所枕崎茶業研究拠点の担当により、平成25年9月12日から13日にかけて、静岡県から鹿児島県に至る9県17名の参加を得て、標記に係る研修を実施しました。茶の新品種特性の理解を深めるとともに、緑茶および紅茶の品質評価技術について習得して頂くため、1)茶品種をとりまく現状と問題点、2)茶新品種の栽培および品質特性、3)茶の成分育種や耐病虫性育種の現状と可能性、について講義を行うとともに、緑茶および紅茶の官能審査を実施することで審査基準や香味の表現についての理解を深めました。また最後には、これらについての総合討議を行いました。

受講生の多くは茶を専門としており、茶育種の現状および新品種の特性の理解や官能審査法の習得を目的とされていました。研修終了後のアンケートでは、多くの方が研修前の目標を7割以上達成できたと回答され、本研修課題に関する能力水準の向上が示されました。講義に加えて官能審査を実施することで、官能審査法に関する知識が深まったとの意見をいただきました。また、研修全体に対しては、「大変良かった」と「良かった」を併せると100%であり、業務との関連についても「大変役立つ」と「役立つ」が76%と、良好な評価をいただきました。

どの講義も分かりやすかったが、もう少しじっくりスライドを見たかったとのご意見も寄せられており、研修を充実させるうえで今後の参考にさせて頂きたいと考えております。

(担当:野菜茶業研究所 業務推進室 山田)



紅茶の官能審査



遺伝資源圃場等の視察

### ○加工業務用野菜の生産技術

野菜茶業研究所つくば野菜研究拠点の担当により、平成25年11月14日から15日にかけて、宮城県から宮崎県に至る11県12名の参加を得て、標記に係る研修を実施しました。加工業務用野菜の生産技術の習得のため、1)畝内施肥・局所施肥、2)露地野菜収穫調整作業の省力化・機械化、3)加工・業務用野菜の需要動向や生産技術、について講義を行い、ハウレンソウ収穫機作業実演等の見学により理解を深めました。

受講生の多くは野菜を専門としており、加工業務用野菜の生産法や省力化・低コスト技術などを習得し、今後の現場活動に活かすことを目標とされていました。研修終了後のアンケートでは、多くの方が研修前の目標を8割以上達成できたと回答され、本研修課題に関する能力水準の向上が示されました。実習により加工業務用野菜の生産技術に関する知識が深まった、講師の発言が臨場感にあふれていて刺激的だったという感想をいただきました。また、研修全体に対しては、「大変良かった」と「良かった」を併せると100%であり、業務との関連についても「大変役立つ」と「役立つ」が92%と、大変良好な評価をいただきました。

今後の要望としまして、内容が盛り沢山であったため、時間をもう少し長くとったほうが良いとのご意見が寄せられており、研修を充実させるうえで今後の参考にさせて頂きたいと考えております。

(担当:野菜茶業研究所 業務推進室 山田)



長ネギ調整機の実演



総合討議